

令和5年度（2学年用）教科

科目 家庭総合

教科： 家庭科

科目： 家庭総合

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（ 1 組：蔵本 ）（ 2 組：蔵本 ）（ 3 組：蔵本 ）（ 4 組：蔵本 ）（ 5 組：蔵本）

使用教科書：（ 家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍） ）

教科 家庭科

の目標：

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉・衣食住、消費生活、環境などについて生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を体験的総合的に身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活を主体的に営むために必要な家族・家庭及び福祉・衣食住、消費生活、環境などのについて科学的に理解しているとともに、それらにかかわる技能を体験的総合的に身に着けるようにする。	生涯を見通して、家族や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生涯を見通す 【知識及び技能】 生涯発達の見点からライフステージの課題と特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 発達課題は年代ごとの自立目標となり、個性に応じたそれぞれの課題は国や地域、時代など様々な要因によっても変容することを考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージの特徴と課題を主体的にとらえ、追及・解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家庭科の授業の手引き 注意事項 生涯発達の見点と特徴 ・教材 1章生涯を見通すと2章人生を作る（自立についての）ワークシート ICT教材活用	A 生涯を見通す 【知識及び技能】 生涯発達の見点からライフステージの課題と特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 発達課題は年代ごとの自立目標となり、個性に応じたそれぞれの課題は国や地域、時代など様々な要因によっても変容することを考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージの特徴と課題を主体的にとらえ、追及・解決しようとしている。	○	○	○	1
	B 人生をつくる 【知識及び技能】 様々な自立があり、自分自身の年代ではどのような自立課題があるか具体的に理解し、家族・家庭と生活の結びつきや社会制度としての家族・家庭を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自立について具体的にどのようなことがあるか表現し、自分自身の目標を考える。その意思決定は人生を決めていく中で重要であることを考え、理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的に追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家族家庭の変化と特徴 家事労働の変化 ・教材 2章人生を作る（家族家庭）のワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	B 人生をつくる 【知識及び技能】 様々な自立があり、自分自身の年代ではどのような自立課題があるか具体的に理解し、家族・家庭と生活の結びつきや社会制度としての家族・家庭を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自立について具体的にどのようなことがあるか表現し、自分自身の目標を考える。その意思決定は人生を決めていく中で重要であることを考え、理解する。 家族家庭について多角的、歴史的に理解し表現している 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的に追及、解決しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						
	B 人生をつくる 家族・家庭を見つめる 【知識及び技能】 より良い家庭生活を実現するために、生活との結びつきを具体的に理解し、社会制度としての家族・家庭や法律を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族家庭について多角的、歴史的に理解する。社会とのかかわり、家事労働や婚姻の変化など、自身の価値観と共に自己決定に何が重要か、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的多角的に追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家族家庭の変化と特徴 家事労働の変化 ・教材 2章人生を作る（家族家庭）のワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	B 人生をつくる 家族・家庭を見つめる 【知識及び技能】 より良い家庭生活を実現するために、生活との結びつきを具体的に理解し、社会制度としての家族・家庭や法律を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 家族家庭について多角的、歴史的に理解する。社会とのかかわり、家事労働や婚姻の変化など、自身の価値観と共に自己決定に何が重要か、考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的多角的に追及、解決しようとする態度を養い、解決しようとしている。	○	○	○	3
2 学 期	B 人生をつくる これからの家庭生活と社会 【知識及び技能】 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域との結びつきを理解し、どのような社会を実現すればいいかを考え実践する。 【思考力、判断力、表現力等】 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域との結びつきを理解し、どのような社会を実現すればいいかを考え実践する。自己決定に何が重要か、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的多角的に追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家族家庭の変化と特徴 家事労働の変化 ・教材 2章人生を作る（家族家庭・これからの家庭生活）のワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	B 人生をつくる これからの家庭生活と社会 【知識及び技能】 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域との結びつきを理解し、どのような社会を実現すればいいかを考え実践する。 【思考力、判断力、表現力等】 より良い家庭生活を創造するために、仕事と家庭の両立や地域との結びつきを理解し、どのような社会を実現すればいいかを考え実践する。自己決定に何が重要か、考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自立や家族家庭について主体的多角的に追及、解決しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	C 経済生活を営む 1、生涯の経済生活を見通す 家計のマネジメント 【知識及び技能】 生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や働き方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるために家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した家計やリスクを踏まえた金融資産マネジメントについて追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家計のマネジメント 金融商品・保険 ・教材 9章経済生活を営むのワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	C 経済生活を営む 1、生涯の経済生活を見通す 家計のマネジメント 【知識及び技能】 生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や働き方を理解するしている。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるために家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した家計やリスクを踏まえた金融資産マネジメントについて追及、解決しようとしている。	○	○	○	3
	C 経済生活を営む 4、生涯の経済生活を見通す 家計のマネジメント 【知識及び技能】 生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や働き方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるために家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した家計やリスクを踏まえた金融資産マネジメントについて追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 家計のマネジメント 金融商品・保険 ・教材 9章経済生活を営むのワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	C 経済生活を営む 4、生涯の経済生活を見通す 家計のマネジメント 【知識及び技能】 生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や働き方を理解するしている。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるために家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を見通した家計やリスクを踏まえた金融資産マネジメントについて追及、解決しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						
	C 経済生活を営む 2、購入・支払いのルールと方法 【知識及び技能】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 購入・支払いのルールと方法 ・教材 9章経済生活を営むのワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	C 経済生活を営む 2、購入・支払いのルールと方法 【知識及び技能】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について追及、解決しようとする態度を養うしている。	○	○	○	4
	C 経済生活を営む 2、購入・支払いのルールと方法 【知識及び技能】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解している。	・指導事項 購入・支払いのルールと方法 ・教材 9章経済生活を営むのワークシート	C 経済生活を営む 2、購入・支払いのルールと方法 【知識及び技能】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解している。				

3 学 期	【知識及び技能】 販売方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について追及、解決しようとする態度を養う。	・教材 ④ 早稲稲生活で暮らすのシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 販売方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について理解考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 毎日の生活における契約について理解する。販売方法や支払い方法が多様化する中責任ある消費行動がとれるよう、契約の重要性について追及、解決しようとする態度を養うしている。	○	○	○	3
	期末考査			○	○		1
	D持続可能な生活を営む 1、持続可能な社会を目指して 【知識及び技能】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費やせいかつ生活を理解し、工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費や生活について理解考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費や生活について追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 D持続可能な生活を営む 1、持続可能な社会を目指してのワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	D持続可能な生活を営む 1、持続可能な社会を目指して 【知識及び技能】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費やせいかつ生活を理解し、工夫できる。 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費や生活について理解考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費や生活について追及、解決しようとする態度を持っている。	○	○	○	5
	D持続可能な生活を営む 1、持続可能な社会を目指して 【知識及び技能】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費やせいかつ生活を理解し、工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費や生活について理解考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費や生活について追及、解決しようとする態度を養う。	・指導事項 D持続可能な生活を営む 1、持続可能な社会を目指してのワークシート 視聴覚DVD活用 ・一人1台端末の活用 等	D持続可能な生活を営む 1、持続可能な社会を目指して 【知識及び技能】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費やせいかつ生活を理解し、工夫できる。 【思考力、判断力、表現力等】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費や生活について理解考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能なライフスタイルの実現に向けて、身近な生活と環境とのかかわりを理解する。持続可能な消費や生活について追及、解決しようとする態度を持っている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 35

令和5年度年間授業計画

教科科目	教科(家 庭) 科目(家庭総合) 単位数:【 2 単位】
教科担当	(3100～3500組:蔵本・真崎・小宮)
使用教科書:	家庭総合 自立・共生・創造 (東京書籍)
副教材等:	スーパーライビュー(東京書籍) □

期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
一 学 期	4	第7章 衣生活 被服製作実習 (エプロン, の 製作), 伝統的な衣服	製作を通し、基礎的な縫製技術を身につける。 製作を通し、衣服の機能・役割、衣服材料の特徴・性能、伝統を理解する。	被服実習作品(エプロン)の完成提出を 必須とし、ノートなどの 提出物、定期考査 の得点、技術の習 得、授業への意欲・ 関心等を総合的に 判断して評価する。	22
	5	第7章 衣生活 被服製作実習 (エプロン, の 製作), 伝統的な衣服	製作を通し、基礎的な縫製技術を身につける。 製作を通し、衣服の機能・役割、衣服材料の特徴・性能、伝統を理解する。		
	6	第6章 食生活 栄養素 第7章 衣生活 なぜ服を着る?, 衣服の成り 立ちと性質, 衣服管理	日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。 栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習やホームプロジェクトなどを行う。 衣服の起源や歴史、風土の学習を通して、衣服の機能や役割について理解する。 衣服材料の種類・特徴・性能を理解する。 衣服の計画・購入・洗濯・保管について、環境に配慮した方法を理解する。 衣生活の現状や問題点を把握し、自分自身の衣生活と結びつけて理解する。		
	7	第3章 高齢期 高齢期の心身の特徴, 高齢期 の健康, 高齢期の生活, 支える しくみ, 介護	高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえることができるようになる。 高齢者の心身の特徴や生活について理解する。高齢社会の現状と課題について理解する。 介護保険制度などの社会保障、地域住民間での助け合いの活動、共生社会などを理解し、ホームプロジェクトを実践する。 介護を必要としている高齢者一人ひとりに応じた介護の必要性と介助の基礎的な知識・技術を身につける。		
二 学 期	9	第8章 住生活 住まいの役割, 住空間, 安全・ 衛生, 文化・環境 第2章 保育 発育・発達, 親の役割, 子どもの 生活・遊び, 健康・安全	住居の機能、ライフステージと住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解する。 ライフステージに合わせた安全で快適な住生活を送るための知識を身につけ、環境にも配慮した住生活を送るための知識を身につける。 住居の平面図を読みとることができるようになる。 子どもたちの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよい環境について考え、自分なりの意見を持つ。 親の役割や子供を産み育てることの意義を学ぶ。 生命の尊さを認識し、愛着の形成や社会的規範を身につけさせる上で、保育における親の役割を理解する。	ノートなどの提出 物、定期考査の得 点、技術の習得、授 業への意欲・関心等 を総合的に判断して 評価する。	28
	10	第2章 保育 発育・発達, 親の役割, 子どもの 生活・遊び, 健康・安全 第6章 食生活 安全・安心な食品、調理実習	子どもたちの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよい環境について理解を深める。 現在の子どもを取り巻く環境を知り、家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。 調理の基礎的な技術を習得する。 現代の食生活における食の安全に関する基礎的な知識を学習し、文化祭も視野に入れて、食品衛生についての理解を深める。		
	11	第2章 保育 発育・発達, 親の役割, 子どもの 生活・遊び, 健康・安全	子どもとかわかって生きることを理解を深める。 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解し、 食事摂取基準について学習する。		
	12	第6章 食生活 食と暮らしのかかわり	行事食・郷土食・伝統的な加工食品・マナーなどの食生活の文化とその背景について知る。 食品の自給率や食に関する環境について理解する。 自分の食生活・現代食生活の課題から、食生活の多様化や食環境の変化を知り、食生活と環境について科学的に考える能力を身につける。 日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。 栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画をし、調理実習やホームプロジェクトなどを行う。		
三 学 期	1	第5章 消費生活 契約、消費者問題、消費者信用 第9章 生活設計 持続可能な社会、生活設計	家計、税金、社会保障などの家計管理について具体的な事例を通してシュミレーションすることができるようになる。 消費行動において、意思決定のプロセスを理解し、自身の消費行動として具体的に考えられるようになる。 契約、多様な販売方法や支払方法、消費者問題などの消費者の権利と責任について理解し、自主的に行動することの必要性を理解する。 自身の生活を見つめ直し、持続可能な社会・循環型社会を目指して地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考え、実行できるようにする。 生涯を見通した生活設計の重要性について理解し、学習を活かした自分らしい生き方を設計する。	ノートなどの提出 物、技術の習得、授 業への意欲・関心等 を総合的に判断して 評価する。	20
	2	第4章 消費生活 契約、消費者問題、消費者信用 第9章 生活設計 持続可能な社会、生活設計	家計、税金、社会保障などの家計管理について具体的な事例を通してシュミレーションすることができるようになる。 消費行動において、意思決定のプロセスを理解し、自身の消費行動として具体的に考えられるようになる。 契約、多様な販売方法や支払方法、消費者問題などの消費者の権利と責任について理解し、自主的に行動することの必要性を理解する。 自身の生活を見つめ直し、持続可能な社会・循環型社会を目指して地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考え、実行できるようにする。 生涯を見通した生活設計の重要性について理解し、学習を活かした自分らしい生き方を設計する。		
	3	第5章 消費生活 契約、消費者問題、消費者信用 第9章 生活設計 持続可能な社会、生活設計	家計、税金、社会保障などの家計管理について具体的な事例を通してシュミレーションすることができるようになる。 消費行動において、意思決定のプロセスを理解し、自身の消費行動として具体的に考えられるようになる。 契約、多様な販売方法や支払方法、消費者問題などの消費者の権利と責任について理解し、自主的に行動することの必要性を理解する。 自身の生活を見つめ直し、持続可能な社会・循環型社会を目指して地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考え、実行できるようにする。 生涯を見通した生活設計の重要性について理解し、学習を活かした自分らしい生き方を設計する。		
					70